

CSR REPORT 2025





目次

01	ごあいさつ	05	私たちができること
02	会社概要	06～	取り組みのご紹介
03	沿革		
04	店舗のご紹介		

持続可能な地域社会の発展のため、 「人」と「商品」を育成する。



当社の経営理念には目指すべき2つの目標があります。1つ目は新鮮でおいしく、安心・安全な商品を提供することで、お客様のより豊かな食生活を実現すること。2つ目はその目的達成のため、社員が「感謝・礼儀・和・誠実・努力」の信条のもとに法令を遵守し、社会的責任と公共的使命を果たすことで、社員自身やその家族、お取引先、株主様の繁栄につなげること。この目標達成には、「人」と「商品」の成長と育成が必要であると考えます。

ニューノーマルの時代に、スーパーマーケットとしての使命を果たすためには、スタッフの人間的な成長が必要であり、そのスタッフこそが、多様化するニーズの中でお客様が求める商品を選択し、育成できるのではないかと考えます。地域社会や会社の課題を、当事者のごとく、問題解決に向けてチャレンジする企業文化と人材の構築を行いながら、お客様から喜ばれる商品づくりをすることで、会社の利潤を社会に還元するサステナブルな仕組みづくりを行ってまいります。私たちの企業活動により、地域社会の発展を「持続可能」にするために、不可欠な「人」と「商品」を育成する。これからの私に与えられた使命だと肝に銘じ、努力してまいります。



会社概要



事業の内容・特徴

当社は、北部九州を中心に82の店舗を展開している食品スーパーで、創業以来、地元の皆様には「マルキョウの商品は安い」とご愛顧を頂いております。当社は低コストと安定供給の為、福岡市と近郊に9ヶ所のセンター（食品、冷食、デイリー、精肉、精肉PC、青果、鮮魚、惣菜、酒）を設立し毎日新鮮でより安い商品を皆様にお届けしています。

設立

1964年12月3日

資本金

59億9,620万円

売上高

852億円（2024年2月期）

従業員数

正社員 500名 他4,220名（2024年2月期）



売上高



経常利益





沿革

～私たちの歩み～

昭和39年12月	株式会社丸共ストア（本部 福岡市博多区銀天町1丁目30番地、資本金400万円）を設立。福岡市銀天町に第一号店雑餉隈店を開店し一般食料品、日用雑貨の販売を開始
昭和48年04月	福岡県大野城市大字山田285番地の1に本社移転
昭和52年06月	株式会社青木商事（昭和47年9月設立、菓子・食品・日用品の卸売業）の株式を取得し子会社とする
昭和58年07月	フランチャイズチェーン展開を開始
昭和60年05月	株式会社マルキョウに商号変更
昭和63年04月	日配商品の配送合理化のため、デイリーセンターを福岡市博多区井相田1丁目12番1号に新築移転
平成02年04月	福岡証券取引所に株式上場
平成02年11月	鮮魚センターを井相田に新築移転
平成04年11月	精肉センターを博多区立花寺に新築移転
平成06年07月	青果センターを太宰府市向佐野に新築
平成07年07月	惣菜センターを福岡市東区箱崎ふ頭に新築
平成08年06月	マルキョウ本社新築
平成09年03月	鮮魚センターを福岡市東区箱崎ふ頭に新築
平成10年01月	本部物流センター完成
平成12年12月	精肉パックセンターを精肉センター横（博多区西月隈）に新築
平成16年11月	和白店をオープン
平成17年03月	春日店をオープン
平成20年06月	南大利店をオープン
平成21年11月	船津店をオープン
平成22年01月	フランチャイズチェーン マイチェリーを直営化
平成26年12月3日	創立満50年を迎える
平成29年02月	福岡証券取引所の上場廃止
平成29年03月	株式会社リテールパートナーズとの株式交換により事業子会社となる
令和02年04月	久留米インター店をオープン
令和03年12月	大村松並店をオープン
令和05年11月	中尾店をオープン



昭和50年代のマルキョウ井尻店

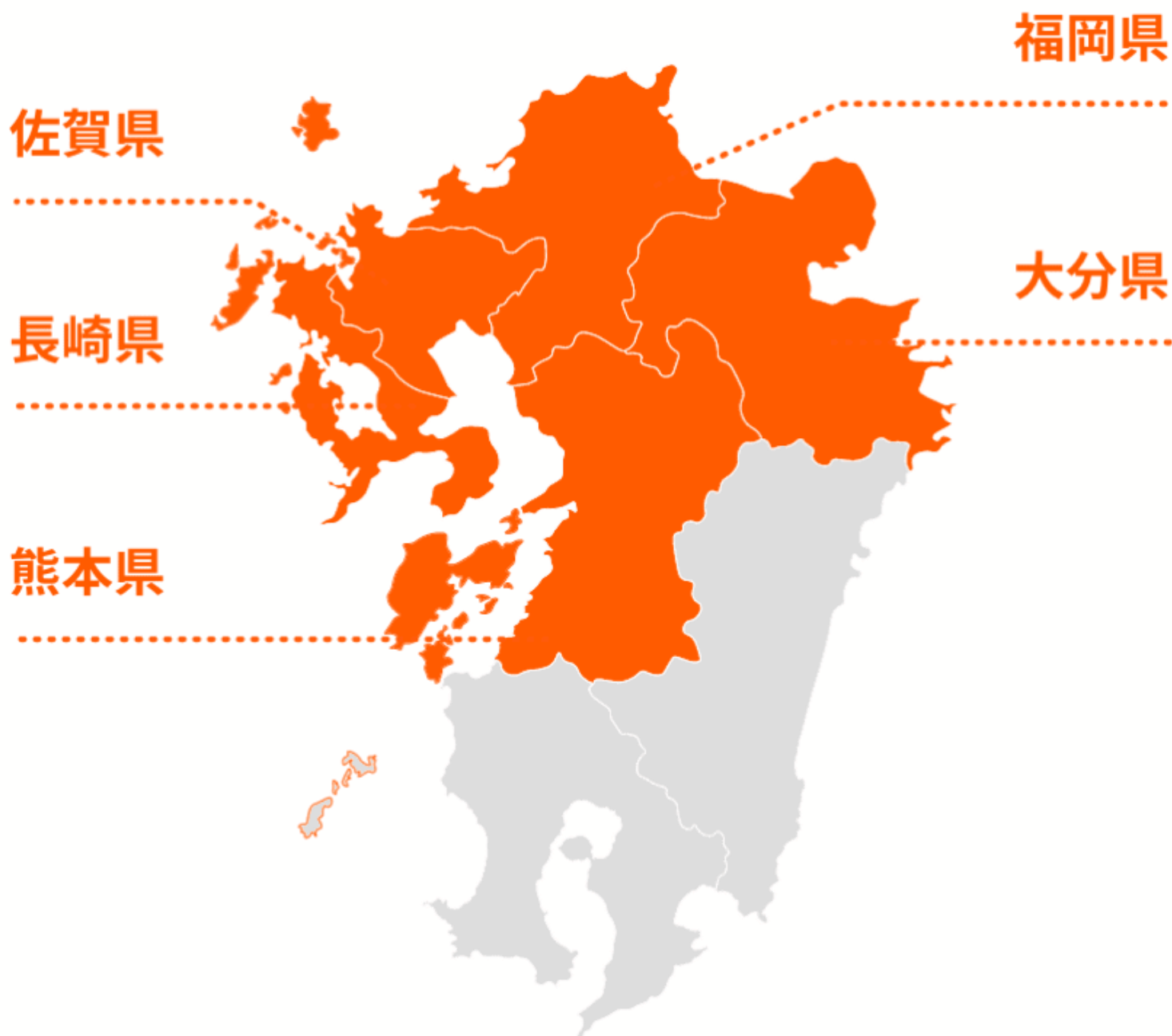


福岡証券取引所上場の様子



各種センター設立

店舗のご紹介



福岡	5	3 店舗
大分	5	店舗
長崎	1	4 店舗
佐賀	6	店舗
熊本	4	店舗



82

店舗

持続可能な社会実現の為 私たちができること

私たちスーパーマーケットのマルキョウは、持続可能な社会実現のため、何かできることはないか日々考え、取り組みを行っています。本章では、そんなマルキョウの取り組みの一部をご紹介します。

「食」を通じた私たちの取り組み

私たちマルキョウは多くの食品を取り扱う会社です。そんな私たちができることを考え、取り組みをご紹介します。

環境に配慮した私たちの取り組み

スーパーマーケットがサービスを提供する為には、エネルギーを必要とします。より環境に配慮したスーパーマーケット運営ができないか考え、取り組みをご紹介します。



デジタルを有効活用した 私たちの取り組み

最新の設備やデジタル技術を利用してより効率よく、より便利にスーパーマーケット運営していくことを心掛けております。そんな当社の取り組みをご紹介します。

お客様と従業員の幸せと健康を 目指した私たちの取り組み

ご利用いただいているお客様、従業員など当社に関わる全ての人が幸せでいられるように当社は日々考え、様々な取り組みを行っています。



マルキョウ S D G s

本章より、具体的な当社の取り組みをご紹介します。

～「食」を通じた私たちの取り組み～



フードドライブを実施しています

マルキョウ34店舗（福岡県、大分県、佐賀県、長崎県、熊本県）でフードドライブを毎月開催しています。



各地域のフードバンクと提携

各都道府県のフードバンクと提携し、お客様やお取引先様からご提供いただいた食材を、地域の子ども食堂等へお届けしています。



マルキョウカレーフェアを実施

福岡県ではマルキョウ本部が所在する大野城市のフードバンク「チャイルドケアセンター」様と、熊本県では「地域こども食堂支援センター」様と共同で実施しました。

カレー100食分を提供しました

お取引先様からのご協力も頂き、地域の子ども達へカレー100食分を提供しました。



マルキョウ S D G s

～環境に配慮した私たちの取り組み～



最新の冷媒設備でCO2削減

マルキョウの店舗には多くの冷媒設備がありますが、その大半を環境に配慮した最新のものに更新しています。

店舗、本部の照明をLEDへ

また、マルキョウの店舗や本部の照明の大半はLEDへ変更しており、冷媒設備と合わせると、変更前の約25%以上節約されています。



油のろ過機でクリーンに美しく

マルキョウの惣菜部門では油をろ過機によりクリーンにし、再利用することで、環境に配慮した取り組みを行っています。

食用油の使用量を削減

油のろ過機使用により、美味しい惣菜を提供できることに加え、10%～20%の油の使用量を削減することができます。



マルキョウ S D G s

～環境に配慮した私たちの取り組み～



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を

トレーレスの商品を取り扱い ゴミ削減を行っています

マルキョウの精肉売り場では一部の店舗でトレーを使用しない商品を採用しています。トレーを使用しないことでゴミの排出量削減を行っています。



エフピコエコAPシリーズ®

株式会社エフピコ様の エコトレーを採用しています

マルキョウで使用しているトレーの一部は、トレーを再利用して作られる株式会社エフピコ様の「エコトレー」を採用しています。ごみの削減、CO2の削減に大きく貢献しています。

リテールパートナーズ×エフピコ 『エコストア』 共同宣言

エフピコと協働し、店舗で回収された使用済み食品トレー、ペットボトルを回収して新たな容器に生まれ変わらせる水平リサイクルを促進しています。





マルキョウ S D G s

～環境に配慮した私たちの取り組み～



鮮魚室に節水器具を設置

マルキョウ店舗の鮮魚室では水道蛇口に節水器具を設置し、水の使用量を削減することが出来ました。



従業員の節水意識も高まる

節水意識の向上のため、店舗等の施設にポスターを掲示するなどの取組みにより、水道使用量を削減することができています。





マルキョウ S D G s

～環境に配慮した私たちの取り組み～



大分県ペットボトルの 水平リサイクル事業に参画

大分県と大手飲料メーカー及び大分市内の企業が連携して使用済みのペットボトルを再活用する事業に、協力企業として当社も参画しています。
大分県の店舗にペットボトル回収箱を設置し、回収を行っています。



本部・店舗に太陽光パネル を設置

本部と店舗に太陽光パネルを設置し、発電を行っています。
CO2排出量の削減や、消費電力の自給自足が見込めます。



マルキョウ S D G s

～デジタルを有効活用した私たちの取り組み～

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



フルセルフレジを導入

マルキョウの一部店舗では、よりお客様のお買い物がスムーズになるようフルセルフレジを導入しています。
より多くのお客様へご提供できるよう、随時、導入店舗を増加しています。



電子棚札を導入

マルキョウの一部店舗にて、お客様のお買い物のしやすさ、従業員の作業負担の軽減となるよう電子棚札を導入しています。随時、導入店舗を増加しています。

LINEを活用した情報提供

マルキョウの一部店舗ではスマートフォン会話アプリ「LINE」を活用した情報提供を行っています。お客様へいち早くお買い得情報をお届けしています。

マルキョウアプリでより便利に

マルキョウは自社スマホアプリで情報発信を行い、お客様のお買い物の利便性を向上しています。

今後、様々な機能を追加していく予定です。

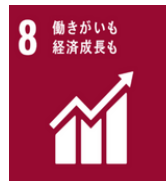




マルキョウ S D G s

～お客様と従業員の幸せと

健康を目指した私たちの取り組み～



地域の小学校、特別支援学校と 連携してマルキョウで職場体験

マルキョウの店舗やセンターで、地域の小学校や特別支援学校の生徒の皆様に、職場体験をして頂いています。実際に働くことを経験したり、働いている従業員との交流を図っております。



「企業主導型保育事業（保育事業者 設置型・認可外保育所）」事業提携

マルキョウは仕事と家庭の両立支援、育児休業を取得した従業員が職場復帰しやすい職場環境を目的として「企業主導型保育事業（保育事業者設置型・認可外保育所）」との事業提携を行っております。この取り組みにより従業員の活躍促進、地域貢献に寄与しております。



マルキョウ S D G s

～お客様と従業員の幸せと

健康を目指した私たちの取り組み～



精肉センターで加工した食肉の切れ端を事業者へ提供、再利用

マルキョウで販売する精肉の加工を行っている精肉センターでは、商品として販売できない食肉の切れ端等を事業者へ提供し、コロッケのミンチ等の材料へ再利用しており、ゴミの排出量を大幅に削減しております。



空調の温度管理を徹底しています

マルキョウの店舗及び本部において、環境に配慮した会社経営のため、空調の温度管理を季節ごとに設定しており電気の使用料を削減することで、CO2排出量の削減を図っております。

この取り組みで、従業員の環境保全の意識改革も行うことができました。





マルキョウ S D G s

～お客様と従業員の幸せと

健康を目指した私たちの取り組み～



マルキョウ本部と店舗が大野城市の
ごみ減量・リサイクルの優良事業所に
認定されました

マルキョウは本部・店舗においてごみ減量やリサイクルに積極的に取り組んでいます。その取組が大野城市に評価され、マルキョウ本部、マルキョウ南大利店、マルキョウ川久保店がごみ減量・リサイクル優良事業所に認定されました。



佐賀県

マルキョウは「チームプラスマさが」
に登録しています

マルキョウ店舗ではプラスチック削減の為、バイオマスレジ袋を使用するなど、様々な取り組みを行っております。佐賀県内のマルキョウ店舗は、佐賀県内のプラスチック削減に取り組む企業で組織される「チームプラスマさが」の一員です。

今後も更なるプラスチックの削減に取り組んでまいります。





マルキョウ S D G s

～お客様と従業員の幸せと

健康を目指した私たちの取り組み～



働き方改革を実施しています
給与を減らさず休める
独自の育休制度をつくりました

育児・介護休業法が令和4年10月1日に施行され、出生時育児休業（産後パパ育休）の創設、育児休業の変更がされましたが、取得すると給与が減ってしまう課題がありました。そこで「出生前、出生時育児休業および育児休業復帰時特別休暇」をつくり、最大10日間、給与を減らさず育休を取得できるようになりました。



献血
ご協力お願いします。

みなさんの
善意の献血が、
尊い命を救います。

新型コロナウイルスの影響で血量の確保が難しくなっています。ご協力をお願いします。

月日	11月8日(火)
時間	10時～12時 13時～16時
会場	マルキョウ小郡店

※(献血者)・高血圧・血圧(降圧剤)の服用(当日の服用も献血可能となりました！)
【共催】小郡市献血推進協議会・小郡ライオンズクラブ
※献血はO型以上、18歳(男性は17歳)～69歳(65歳以上は、60～64歳の献血者)の力となります。

福岡県赤十字血液センター 北九州事業所
〒816-8588 福岡県市上吉賀1-2-1 TEL 092-921-1600 〒804-0044 北九州市八幡西区相生町15-1 TEL 093-431-1211

マルキョウの駐車場を
献血の会場として提供しています

マルキョウの一部店舗の駐車場を献血の会場として定期的に日本赤十字社様へご提供しております。

1日に多くのお客様が来店されるスーパーマーケットと非常にマッチした取り組みです。



マルキョウ S D G s

～お客様と従業員の幸せと

健康を目指した私たちの取り組み～



「奨学金支援制度」を採用しています

従業員のより良い労働環境づくりのため、当社では「奨学金返済支援制度」を採用しています。高等学校卒業者から大学卒業者まで幅広く活用できる制度となっています。奨学金返済開始より月々の返済額（上限2万円）を支給、最長10年（最大240万）活用できる制度となっています。



「日本学生支援債券」への投資

マルキョウは独立法人日本学生支援機構が発行する「日本学生支援債券」へ投資しています。債券発行による調達資金は奨学金の財源として活用されます。



店舗から出た廃油をトラックの燃料として再利用しています

マルキョウの惣菜を調理する際に出た廃油は、西田商運グループ様に提供しております。西田商運グループ様は廃油から「バイオディーゼル燃料」を製造され、トラックの燃料として活用されています。CO2の増加を抑え、自然環境や化石燃料などの貴重な資源の保全に役立つ、注目の新エネルギーです。



マルキョウ S D G s

～お客様と従業員の幸せと

健康を目指した私たちの取り組み～



災害時支援協定を締結

本部の所在する福岡県大野城市の他、筑紫野市、春日市と「災害時における支援協力に関する協定書」を締結しました。

この協定は事前に支援協力要請を定め、地震等による大規模な災害が発生した場合に、災害応急対策および災害復旧対策が円滑に実施されることを目的としています。

大野城市との締結は本部を大野城市に移転して50年の節目に行われました。万が一の災害に行政や他企業と連携して備え、地域の皆様が安心して暮らせるまちづくりに貢献してまいります。

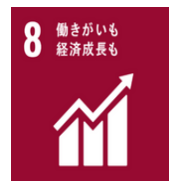




マルキョウ S D G s

～お客様と従業員の幸せと

健康を目指した私たちの取り組み～



健康経営優良法人に認定されました

経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人認定制度」において「健康経営優良法人 2025」（大規模法人部門）に認定されました。健康経営優良法人制度は、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。従業員一人ひとりが課題に向き合い、楽しく仕事に取り組める職場環境を作ることを目指し、引き続き、ご家族を含めた自発的な健康づくりに取り組んでまいります。





福岡県SDGs登録制度 登録証を頂きました

SDGsに積極的に取り組む福岡県内の企業や団体を県が広く公表し、SDGsへの貢献を「見える化」する「福岡県SDGs登録制度」においてマルキョウ本部は必要な事項を達成し、福岡県のSDGsに取り組む事業者として登録され、登録証を頂きました。

今後も更にSDGsを推進し、社会や地域に貢献する企業として活動してまいります。



MARUKYO



福岡県食品ロス削減 優良取組知事表彰を 頂きました

福岡県では食品ロス削減の取組の更なる推進を目的として、食品ロス削減に資する優れた取り組みを表彰しています。

令和5年度の優良取組として、当社のフードドライブ活動も表彰いただきました。



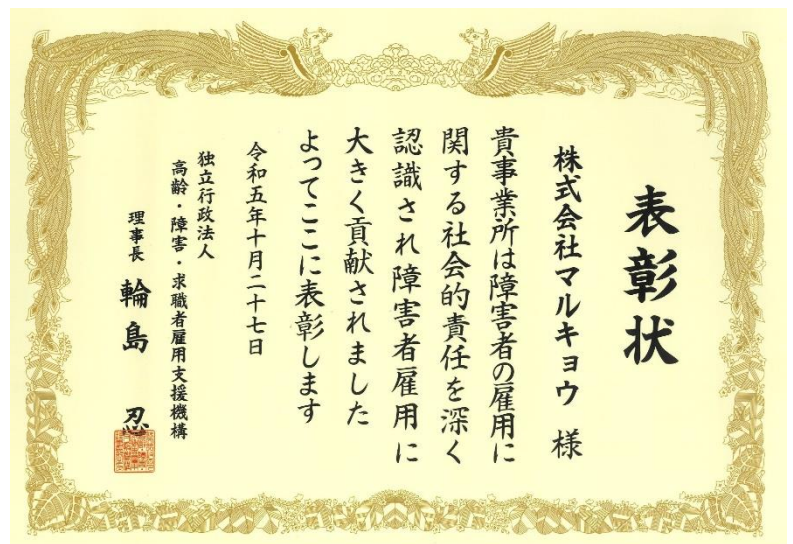
これもひとえに、活動にご協力いただいているフードバンクの皆様、そして食品を提供してくださる地域のお客様のお陰でございます。

今後も食品ロス削減のため、活動を継続してまいりますので、引き続きご協力いただけますと幸いです。



障害者雇用 優良事業所等表彰を 頂きました

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構と厚生労働省が実施する、障害者雇用優良事業所等表彰（福岡支部）にて、「独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長賞」を受賞しました。



本表彰は、障がい者を積極的に多数雇用している事業所、および長年にわたり障がい者雇用の促進と職業の安定に貢献していると認められた団体を表彰するものです。これからも個々人の多様性を尊重し、誰もが持続的に活躍できる社会の実現に貢献できることを目指してまいります。



株式会社マルキョウ
福岡県大野城市山田5丁目3番1号
Tel: (092) 501-5221
FAX: (092) 501-9392